

Chapter 1	クロス集計表と独立性の検定	1-1
1.1.1	クロス集計表の概要	1-2
1.1.2	独立変数と従属変数	1-4
1.1.3	セルの内容－度数とパーセンテージ－	1-6
1.1.4	仮説検定	1-8
1.1.5	Pearsonのカイ2乗検定	1-10
1.1.6	Fisherの正確確率検定	1-12
1.1.7	クロス集計表の残差分析	1-14
1.1.8	使用できる変数の尺度	1-16
1.1.9	クロス集計表による分析の実行手順	1-17
1.2.1	サンプルデータの確認	1-18
1.2.2	オプションの設定	1-20
1.3.1	クロス集計表の作成－ 2×2 分割表－	1-23
1.3.2	クロス集計表の結果の解釈－ 2×2 分割表－	1-27
1.3.3	独立性の検定の実行－ 2×2 分割表－	1-29
1.3.4	独立性の検定の結果の解釈－ 2×2 分割表－	1-31
1.4.1	クロス集計表の作成－ $l \times m$ 分割表－	1-32
1.4.2	クロス集計表の結果の解釈－ $l \times m$ 分割表－	1-36
1.4.3	独立性の検定の実行－ $l \times m$ 分割表－	1-37
1.4.4	独立性の検定の結果の解釈－ $l \times m$ 分割表－	1-39
1.4.5	Fisherの正確確率検定の実行－ $l \times m$ 分割表－	1-41
1.4.6	Fisherの正確確率検定の結果の解釈－ $l \times m$ 分割表－	1-44
1.5.1	残差分析の実行	1-45
1.5.2	残差分析の結果の解釈	1-47

Chapter 2 独立したサンプルの t 検定	2-1
2.1.1 t 検定の概要	2-2
2.1.2 要因と水準.....	2-3
2.1.3 独立したサンプル(対応のないサンプル)	2-4
2.1.4 独立したサンプルの t 検定	2-5
2.1.5 独立したサンプルの t 検定の仮定	2-7
2.1.6 正規性の評価方法.....	2-8
2.1.7 ウェルチ検定.....	2-10
2.1.8 パラメトリック検定とノンパラメトリック検定	2-11
2.1.9 マンホイットニーの U 検定	2-12
2.1.10 対応のない2群の平均値の差の検定の実行手順	2-14
2.2.1 サンプルデータの確認.....	2-15
2.2.2 オプションの設定.....	2-17
2.3.1 記述統計の実行.....	2-20
2.3.2 記述統計の結果の解釈.....	2-23
2.3.3 正規性の評価.....	2-27
2.4.1 独立サンプルの t 検定の実行	2-29
2.4.2 独立サンプルの t 検定の結果の解釈	2-32
2.4.3 平均値の信頼区間の解釈.....	2-35
2.4.4 平均値の差を示すグラフの作成－棒グラフー	2-38
2.5.1 マンホイットニーの U 検定の実行	2-43
2.5.2 マンホイットニーの U 検定の結果の解釈	2-47

Chapter 3 対応のあるサンプルのt検定	3-1
3.1.1 t検定の概要	3-2
3.1.2 要因と水準.....	3-3
3.1.3 対応のあるサンプル.....	3-4
3.1.4 対応のあるサンプルのt検定	3-5
3.1.5 対応のあるサンプルのt検定の仮定	3-7
3.1.6 パラメトリック検定とノンパラメトリック検定	3-8
3.1.7 ウィルコクソン符号付順位検定.....	3-9
3.1.8 対応のあるサンプルのt検定の実行手順.....	3-10
3.2.1 サンプルデータの確認.....	3-11
3.2.2 オプションの設定.....	3-13
3.3.1 記述統計の実行.....	3-16
3.3.2 記述統計の結果の解釈.....	3-19
3.3.3 正規性の評価.....	3-24
3.4.1 対応のあるサンプルのt検定の実行	3-26
3.4.2 対応のあるサンプルのt検定の結果の解釈.....	3-28
3.4.3 平均値の差を示すグラフの作成ーエラーバーー	3-32
3.5.1 ウィルコクソン符号付順位検定の実行.....	3-37
3.5.2 ウィルコクソン符号付順位検定の結果の解釈	3-41

Appendix A	ノンパラメトリック検定—過去のダイアログ	A-1
A.1.1	マン-ホイットニーのU検定の実行.....	A-2
A.1.2	マン-ホイットニーのU検定の結果の解釈.....	A-5
A.2.1	ウィルコクソン符号付順位検定の実行.....	A-7
A.2.2	ウィルコクソン符号付順位検定の結果の解釈.....	A-9
Appendix B	データの再構成	B-1
B.1.1	データの再構成の概要.....	B-2
B.1.2	ケースグループと変数グループ.....	B-3
B.2.1	ケースグループへの再構成.....	B-5
B.2.2	ケースグループへの再構成の結果.....	B-13
B.3.1	変数グループへの再構成.....	B-15
B.3.2	変数グループへの再構成の結果.....	B-20

本書では、IBM SPSS Statistics 25を使用しています。

オプションとして、Exact Testsを使用しています。

IBM およびSPSSは、International Business Machines Corp.の登録商標です。

本書を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。